



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社名村造船所

上場取引所

東

コード番号 7014

URL <https://www.namura.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名村 建介

問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員経營業務本部長

(氏名) 向 周

TEL 06-6543-3561

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	43,585	19.5	9,805	70.3	10,475	77.2	7,345	61.0
2026年3月期第1四半期	36,487	△8.2	5,758	△33.2	5,911	△39.6	4,562	△52.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 3,313百万円(△53.6%) 2026年3月期第1四半期 7,142百万円(△40.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	105.74	104.85
2026年3月期第1四半期	65.75	65.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	269,909	138,666	51.1
2026年3月期	266,148	137,441	51.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 137,843百万円 2026年3月期 136,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	6.9	29,000	3.3	30,000	1.6	22,000	1.9	316.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	69,475,551株	2026年3月期	69,475,551株
2027年3月期1Q	10,307株	2026年3月期	10,053株
2027年3月期1Q	69,465,354株	2026年3月期1Q	69,376,103株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する説明	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する説明

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	36,487	43,585	7,098	19.5%
営業利益	5,758	9,805	4,047	70.3%
経常利益	5,911	10,475	4,564	77.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,562	7,345	2,783	61.0%

当第1四半期連結累計期間の為替レートは以下のとおりです。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	差額
売上高平均レート(第1四半期連結累計期間)(注1)	145.36円/US\$	158.87円/US\$	13.51円 円安
期末レート(第1四半期連結会計期間末)(注2)	144.81円/US\$	162.39円/US\$	17.58円 円安

(注1)売上高平均レートは、「為替予約済レートを含む円換算売上高総額」÷「ドル建て売上高総額」であります。

(注2)未入金かつ未予約のドル建売上高は当第1四半期連結会計期間末のレートでもって円換算しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、中核である新造船事業における円安効果と大型撤積運搬船を中心とするプロダクトミックス体制への移行が順調に進捗したこと、他事業においても概ね計画通りに推移した結果、売上高は43,585百万円、営業利益は9,805百万円、経常利益は10,475百万円、税金等調整前四半期純利益は10,475百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,345百万円となりました。

＜セグメント別概況＞

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
新造船	29,374	34,290	4,916	16.7%	5,691	9,778	4,087	71.8%
修繕船	4,118	5,207	1,089	26.4%	530	370	△160	△30.2%
鉄構・機械	1,310	2,095	785	59.9%	77	248	171	222.5%
その他	1,685	1,993	308	18.3%	215	292	77	36.3%
計	36,487	43,585	7,098	19.5%	6,513	10,688	4,175	64.1%
消去又は全社	—	—	—	—	△755	△883	△128	—
連結	36,487	43,585	7,098	19.5%	5,758	9,805	4,047	70.3%

〈新造船事業〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は34,290百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は9,778百万円（前年同期比71.8%増）となりました。円安基調が続いたことに加え、ハンディ型撒積運搬船を中心とした建造体制から大型撒積運搬船を主商品とするプロダクトミックス体制への移行が順調に進み、高操業を維持しながらドック期間や進水後の艀装期間短縮などにより増産化が実現したこと、サプライチェーンの見直しなど全社一丸となった原価削減の取り組みにより、資材価格や人件費高騰の影響を上回る成果が出たことにより、前年同期比で増収増益を達成しました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ハンディ型撒積運搬船4隻を完工、大型撒積運搬船6隻を受注し、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は51隻、477,663百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

〈修繕船事業〉

佐世保重工業株式会社と函館どつく株式会社による修繕船事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は5,207百万円（前年同期比26.4%増）、営業利益は370百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

国内艦艇修繕の発生工事が少なかった前年同期と比べて売上高は増加しましたが、減益となりました。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は10,302百万円（前年同期比43.9%増）となり、収益改善に努めてまいります。

〈鉄構・機械事業〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,095百万円（前年同期比59.9%増）、営業利益は248百万円（前年同期比222.5%増）となりました。鉄構橋梁部門は操業量の回復により僅かではありますが営業利益が黒字に転じ、舶用機械部門においても主力の舶用エンジン向けクランクシャフトを中心に採算が改善した結果、前年同期比で増収増益となりました。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は8,156百万円（前年同期比27.2%増）であります。

〈その他事業〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,993百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は292百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は1,623百万円（前年同期比3.2%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2026年6月30日)	増減
総資産	266,148	269,909	3,761
負債 (内有利子負債)	128,707 (20,976)	131,243 (20,582)	2,536 (△394)
純資産	137,441	138,666	1,225
自己資本比率	51.3%	51.1%	△0.2ポイント
有利子負債比率	15.4%	14.9%	△0.5ポイント

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の一部を現在推進中の大型設備投資計画に伴う支払いまでの間、短期有価証券（国債）で運用することとし、保有する投資有価証券の一部に時価の下落が見られましたが、前渡金や有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて3,761百万円増加し、269,909百万円となりました。負債は、新規受注案件の増加に伴う契約負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて2,536百万円増加して131,243百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を7,345百万円計上しましたが、投資有価証券の時価下落などの影響により前連結会計年度末に比べて1,225百万円増加の138,666百万円となり、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は微減の51.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期（第128期）の通期の連結業績予想および配当予想につきましては、今後の為替の動向が不透明であり、インフレ圧力が強まることも予想されますので、現時点においては2026年5月14日に公表しました数値を据え置くことといたしました。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	5月14日公表 通期予想値	進捗率
売上高	43,585	170,000	25.6%
営業利益	9,805	29,000	33.8%
経常利益	10,475	30,000	34.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	7,345	22,000	33.4%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	121,724	107,327
受取手形、売掛金及び契約資産	43,884	48,857
有価証券	—	12,487
商品及び製品	87	88
仕掛品	3,093	2,799
原材料及び貯蔵品	1,564	1,559
その他	5,986	10,127
流動資産合計	176,338	183,244
固定資産		
有形固定資産	36,661	39,071
無形固定資産	657	664
投資その他の資産		
投資有価証券	51,241	45,722
その他	1,251	1,208
投資その他の資産合計	52,492	46,930
固定資産合計	89,810	86,665
資産合計	266,148	269,909
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,763	13,725
電子記録債務	2,980	2,474
短期借入金	6,289	6,592
未払法人税等	5,129	2,897
契約負債	57,058	64,699
工事損失引当金	111	52
保証工事引当金	522	504
役員賞与引当金	92	6
その他	7,186	8,588
流動負債合計	95,130	99,537
固定負債		
長期借入金	14,687	13,990
その他の引当金	276	298
退職給付に係る負債	4,328	4,407
その他	14,286	13,011
固定負債合計	33,577	31,706
負債合計	128,707	131,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,324	8,324
資本剰余金	27,229	27,229
利益剰余金	67,219	72,480
自己株式	△9	△10
株主資本合計	102,763	108,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,029	27,008
繰延ヘッジ損益	77	95
為替換算調整勘定	1,082	1,116
退職給付に係る調整累計額	1,689	1,601
その他の包括利益累計額合計	33,877	29,820
新株予約権	332	332
非支配株主持分	469	491
純資産合計	137,441	138,666
負債純資産合計	266,148	269,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	36,487	43,585
売上原価	28,960	31,739
売上総利益	7,527	11,846
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	677	839
その他	1,092	1,202
販売費及び一般管理費合計	1,769	2,041
営業利益	5,758	9,805
営業外収益		
受取利息	33	99
受取配当金	775	755
持分法による投資利益	18	19
その他	240	188
営業外収益合計	1,066	1,061
営業外費用		
支払利息	69	106
為替差損	737	70
固定資産圧縮損	77	127
その他	30	88
営業外費用合計	913	391
経常利益	5,911	10,475
税金等調整前四半期純利益	5,911	10,475
法人税、住民税及び事業税	746	2,793
法人税等調整額	599	314
法人税等合計	1,345	3,107
四半期純利益	4,566	7,368
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,562	7,345

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,566	7,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,795	△4,018
繰延ヘッジ損益	△15	18
為替換算調整勘定	△164	34
退職給付に係る調整額	△40	△89
その他の包括利益合計	2,576	△4,055
四半期包括利益	7,142	3,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,135	3,288
非支配株主に係る四半期包括利益	7	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	29,374	4,118	1,310	1,685	36,487	—	36,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	86	86	△86	—
計	29,374	4,118	1,310	1,771	36,573	△86	36,487
セグメント利益	5,691	530	77	215	6,513	△755	5,758

(注) 1 セグメント利益の調整額△755百万円には、セグメント間取引消去△2百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△753百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	34,290	5,207	2,095	1,993	43,585	—	43,585
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	93	93	△93	—
計	34,290	5,207	2,095	2,086	43,678	△93	43,585
セグメント利益	9,778	370	248	292	10,688	△883	9,805

(注) 1 セグメント利益の調整額△883百万円には、セグメント間取引消去△8百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△875百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	890百万円	967百万円